

令和6年度第5回滝合小学校学校運営協議会 議事録

開催日時	令和7年1月20日(月)16時～17時半	作成日/作成者	令和7年1月25日 中島			
議題	今年度の振り返りと来年度に向けて、各部会情報共有					
委員	氏名	所属	出席	氏名	所属	出席
委員	大野 豪祐	保護司(地域住民)	×	佐野 礼子	ひのっちコーディネーター、たきあい塾代表、四中地区青少年育成会(地域住民)	○
	中島 愛子	PTA会長(保護者)	○	橋口 陽二郎	PTA会長(保護者)	×
	尾形 重男	農業社会人講師(地域住民)	×	小田 薫	学校支援コーディネーター、滝合小カラーガード代表(地域住民)	×
	中山 良昭	平山中校長(関係行政機関の職員)	×	大橋 佳代子	学校支援コーディネーター、図書協力員(地域住民)	○
	佐藤 美徳	滝合小学校校長	○	苫米地 陽子	滝合小学校副校長	○
	佐藤 健太	滝合小学校教職員	○	清水 勇輝	滝合小学校教職員	○

議事

佐野副会長の司会により進行

1. 学校長挨拶

- ・ 1月17日は阪神淡路大震災から30年、本日の集会では震災の話と防災の話、大寒なので健康管理に気をつけるように話をした。1月18日土曜日のどんど焼きにはお力添えをいただき感謝している。芝を舞台とした、地域に学校を開く行事の創生・再生により、学校の安心感、地域の活性化を狙っていることが徐々に成果となっていると感じている。

2. 日野市第四次学校基本構想における滝合小学校のプロジェクト「地域と共に歩み、安心できる学校づくり」の中間報告

- ・ 成果と課題
 - 地域や地域人材を生かした探求的学習の深まり：校内での米や作物の栽培、近隣の農園への見学、ゲストティーチャーからの学びなど、実施に本物に触れて感じ、考えることを深めることができた。
 - 芝生イベントの参加者増加、見守りの拡大：芝生イベントは参加者が増えた。定期的なシバ開放 Day 各回20-30名、水遊びと花火 300-400名、ラジオ体操3日間のべ100名、天体観望会 200名、滝愛祭 1000名、どんど焼き 400名 合計2500名程度となった。教育長のヒアリングでも評価いただけた。地域の目が学校に向きつつあり認知されてきている。5年、10年かけて地域に根付かせ、地域のものにしていきたい。
 - 芝生等での学校環境の維持と活用の推進：芝生管理委員会では、地域団体や人材で芝生維持管理を進めていく体制の構築が進んでいる
 - CS(コミュニティースクール)で学校安全や飼育動物の対応を実施：夏休みに保護

者、地域の方に CS から募集をかけることによって、夏休み、冬休みにウサギのお世話を引き受けていただくことができ、長期休業中の教員の負担を大いに軽減できた。保護者、地域の中には、学校に貢献したいものの敷居が高いと感じられ、なかなか参加できない方が多いのかもしれない。他校に先駆けた CS の取り組みの好事例である。

- ▶ 安心できる学級風土の醸成と児童の表出性向上：自分のことを臆することなく発言できる学校、失敗することも保証できる学校になるべき。まだ課題があり、温かみのあるクラスを作るため、次年度に向け引き続き取り組むが一朝一夕にはできるものではない。次年度の課題の柱とし軸足を置いていきたい。
- ▶ 迅速かつ丁寧ないじめ・不登校対応のための CS、PTA、関係諸機関との連携継続・強化：滝合小は全国的に見ていじめや不登校は少ないものの、いじめや不登校もあるので改善を図りたい。そのためには子供どうしだけでなく、教員どうし、保護者どうし、子供に関わる人たちの関係性を温かいものにしていきたい。

3. 各部会より

・ 環境整備部会

- ▶ 芝生イベント報告（中島）
 - ・ 全体報告は上記のとおり
 - ・ 各イベントに地域の方の参加、サポートが増えていることに、学校、保護者、地域連携のさらなる可能性を感じている
- ▶ 芝生整備（佐藤校長）
 - ・ 滝合小の芝生の維持管理には用務の伊藤主事の貢献が大きい。
 - ・ 芝生の維持・養生は、来年度地域の方と協力して実施していく。
 - ・ プロではないので、伊藤主事から1年間の作業計画を出してもらい、基本的なメンテナンスを中心に実施した上で定期的にアドバイザーに入ってもらえるような体制を考えている。
- ▶ 環境整備（苫米地副校長）
 - ・ 子供たちの学習に必要なものとして、教育予算でビオトープ整備ができることになり、18万円をかけビオトープの測量を実施した。現状把握をした上で、より良いビオトープ環境の設計を検討する。具体的には少し傾斜をつけて流れを作り、湿地帯を改善する。現在脇に置かれているバッティングネットは市の所有物と判明した。ビオトープ整備の際に置き場所を変更する予定。工事費用の不足が想定されるので、来年度 PTA の環境整備予算での対応をお願いしたい。なお、手押しポンプの交換は庶務課で対応される予定。
 - ・ 川沿いの桜4本、銀杏1本を伐採した。日野市で起こった銀杏の枝の崩落事故の影響で全市に点検が入ったが、これらの木についてはそれ以前から危険性を認識し伐採を検討していたもの。銀杏の木はビオトープの縁に埋め込む予定だが、桜の木はひのちや学童での工作や芝生イベントで活用する。伐採した部分には河津桜を植樹した。

→CS 中心に、地域の方に向けて完成予想図を示し芝生イベントで募金を募ってピオトップ基金を設立したり、クラウドファンディングで資金を集めたりしても良いかもしれない（佐野、大橋）

→学校関係者は異動して地域から去っていくので、地域の方で進めていただくのが良い（佐藤校長）

・ 学習支援部会（佐野）

➤ たきあい塾報告

・ 来年度は予算の関係もあり定員を絞った上で年間 20 回の開催を予定している。4-5 月の学習の様子を見て 6 月くらいから開始する。

➤ サマースクール実施計画

・ 今年度も 3 日間開催を予定している。予算削減を受け、無償で開催できるポッチャや工作などを検討している。体育館が照明工事のため使えないので教室で実施できるものとする必要がある。6 月に参加者募集予定。

→材料費の実費などを参加者に負担いただくことは可能（佐藤）

→保護者もボランティア講師として招くのはどうか？橋口委員もサマースクールに興味があると聞いているので橋口委員に打診する（中島）

→橋口委員にメインで担当いただき、4 月に講師募集できるように進めてもらう（佐野）

・ 防犯・防災（安心・安全）部会

➤ ピーポくんの家担当の方から数件辞退の連絡があった。引き続き担当いただける方と連絡を取り合う。TAKIAIMAP を更新し、3 学期の開始に合わせて見守りを実施した（中島）

➤ スクールガードボランティアも掲示板や回覧板を見たとのことで少しずつメンバーが増えている。今後メンバー間の連絡体制なども整えたい（中島）

➤ 今まで校内に 2 本しかなかったさすまたを 7 本購入し、各階に設置するようにした。適切に使用できるよう講習会を実施する（苫米地副校長）

➤ 3 学期は予告なしの避難訓練を実施予定。1 月分は火災想定で実施したが、朝の時間帯にも関わらず適切な避難訓練ができた。寒い時期に長時間外に出ることを児童自身が判断し上着を持って出るなどできるようにしていきたい。なお、緊急事態では外で長時間待たなければいけないような状況になる可能性もあるので、なるべく早く保護者に引き取りにきていただきたい。C4th での連絡体制なども確認し備えたい。（清水主幹）

4. その他

- ・ 1 月 23 日（木）5 年生日本フェスティバルお知らせ
- ・ 1 月 25 日（土）道徳授業地区公開講座 大原先生講演会お知らせ
- ・ 2 月 15 日（土）展覧会開催お知らせ
- ・ 2 月 15 日（土）学校経営評価提出締切（地域のイベント＝学校芝生イベントと認識され

ており、芝生イベントに参加できていないという意味で「地域イベントに参加している」という項目が低い点数になっているのではないか。卒業生が学校のイベントを知らないという話も出ており、幅広く学校のことが地域に理解いただくための工夫が必要。イベントもPTAだけでなく学校、CSからの発信が必要ではないか。CS通信の発行を考えたい。）

- ・ 3月24日（月）卒業式、4月7日（月）入学式への参加依頼
- ・ 来年度年間計画確認

次回) 令和6年度 第6回 学校運営協議会 3月17日（月） 16時～
校長室またはランチルームにて